

D病棟の特徴

1. 患者アメニティの向上

- 病室は、6床室を解消して1床室と4床室のみとし、1床室を大幅に増やしています。
- 各フロアに患者食堂、面談室、家族控室を設置しています。
- 病室内にトイレ及び手洗いを設置しています。
- スタッフステーションはオープンカウンター方式とし、患者さまなどが気兼ねなく話しかけることのできる環境作りをしています。
- 誘導サインは、「わかりやすく、メリハリをつけて、安心感を与える」をコンセプトに作成しています。
- 6階に眺望（びわこ、比叡山が一望できる）のよいレストランと喫茶を設置しています。

2. 病棟機能の向上

- 1管理2NU（ナースステーション）型を採用し、スタッフを集約的に配置しています。
- 各フロアに観察室を設置し、急性期の患者さまに迅速に対応できる環境を整えています。
- SPD専用棚をスタッフ廊下に設置し、機能性と能率性の向上が期待できます。
- 画像配信設備を設置し、本格的な電子カルテ化の導入にも対応可能です。
- スタッフ専用のエレベーターを2機設置し、スタッフの利便性の向上を図っています。

3. 教育・研究機能の向上

- カンファレンス室を増やし、教育・研究の場を整備充実。（13室→27室、395㎡→698㎡）
- 研修医ロッカーを設置し、快適に研修を行える環境作りをしています。
- 当直室を増やし、快適に当直業務を行えるようにしています。

4. 看護業務軽減の工夫

- 看護支援プログラムを付加させたインテリジェントナースコールを導入しています。
- 自動採尿比重測定装置（分散型）を設置し、看護業務を軽減しています。
- 介助浴装置を2機設置しています。

5. 医療安全面への配慮

- 吸引と酸素吸入の医療ガスアウトレットをそれぞれ複数設け、安全な医療を可能にしています。
- ナースコールの機能を充実させ、迅速に情報伝達ができる仕組みを作ります。
- 感染対応病床と設備の工夫を施しています。

建物概要

建築面積	2,654㎡
延床面積	13,715㎡
構造・階数	SR（鉄筋鉄骨コンクリート造）6階建
工期	平成18年1月～平成19年8月
病室数	1床室98室、4床室47室

基本計画

滋賀医科大学施設課

実施設計

建築 岡田新一・エヌ・ティ・ティファシリティーズ設計共同体

設備 株式会社エヌ・ティ・ティファシリティーズ

施工

建築工事 竹中・フジタ・平和奥田特定建設工事共同企業体
(株)竹中工務店
(株)フジタ
平和奥田(株)

機械工事 菱和・浦安・大崎特定建設工事共同企業体
(株)テクノ菱和
浦安工業(株)
大崎設備工業(株)

電気工事 住友電設(株)



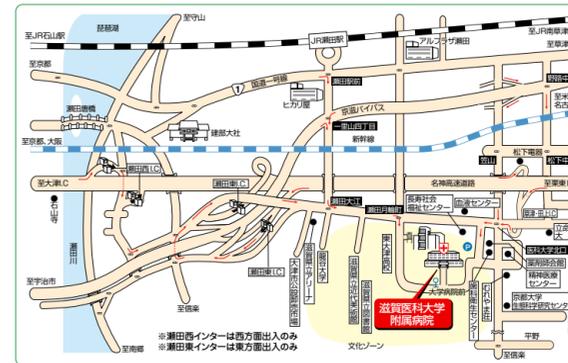
滋賀医科大学医学部附属病院の理念・基本方針

滋賀医科大学医学部附属病院 理念

『信頼と満足を目指す全人的医療』

理念を実現するための 基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営をめざします



- JRの場合 JR東海道本線（琵琶湖線）京都駅からJR瀬田駅まで約20分（各駅停車）
JR瀬田駅から大学病院前までバス約15分
- 自動車の場合 <京都方面から> 名神高速道路・瀬田西インターから約10分
名神高速道路・草津・田上インターから約5分
<彦根方面から> 名神高速道路・草津・田上インターから約5分
名神高速道路・瀬田東インターから約10分

滋賀医科大学医学部附属病院

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
TEL.077-548-2111（代表）
<http://www.shiga-med.ac.jp/hospital/>

Shiga University of Medical Science Hospital

滋賀医科大学医学部附属病院

新（D）病棟施設概要



病院再開発の概要

昭和53年10月に開院した滋賀医科大学医学部附属病院は、県内唯一の大学病院として安全で質の高い医療の提供、優れた医療人の育成、先進的医療の研究開発に取り組んできましたが、開院以来26年を経て、建物・施設の老朽化が進み、また医療をめぐる環境が大きく変化したことから、病院全体の再開発計画を実施することとなりました。

この計画では、新病棟及び中央診療棟の増築工事、既存病棟、中央診療棟、給食棟、外来棟などの改修工事を実施し、病院全体が装いを新たに生まれ変わります。

この度の新(D)病棟増築工事は、病院再開発計画の第1段階であり、全体計画の中でも最大規模の事業の一つに数えられます。D病棟は、スタッフなどのアイデアを至る所にちりばめた病棟となっており、患者さまの満足度向上に資する機能が多く備えられています。



病院再開発のコンセプト

1 機能集約型病院

当院では、平成14年に内科・外科のナンバー科を廃して23の臓器別診療科に再編成しました。これにより、患者さまを中心として各診療科の専門家が集まり、議論を重ねた上で、最短で最適な医療が行われる体制を構築しました。

機能集約型医療体制を構築するため、病院再開発計画では、生活習慣病センターや細胞治療センターなどの新設を計画しています。また、透析部、ICU、NICU、リハビリテーション部、光学医療診療部の整備・拡充も計画しています。

病棟では、内科と外科を同一フロアとし、循環器病棟、呼吸器病棟、消化器病棟、頭頸部病棟などの臓器別病棟体制をとり、母子診療科・女性診療科と小児科は生殖医療センター、周産期母子センターとして拡充する予定です。

2 地域密着型病院

地域に密着した病院づくりをするため、救急医療体制を整備し、教育研修機能を充実させます。

当院では、全診療科の医師が24時間待機しており、すべての患者さまを受け入れる体制をとっています。滋賀県内唯一の大学病院として、安全で質の高い医療の提供、先進的医療の研究開発を行い、地域から信頼される病院を目指します。

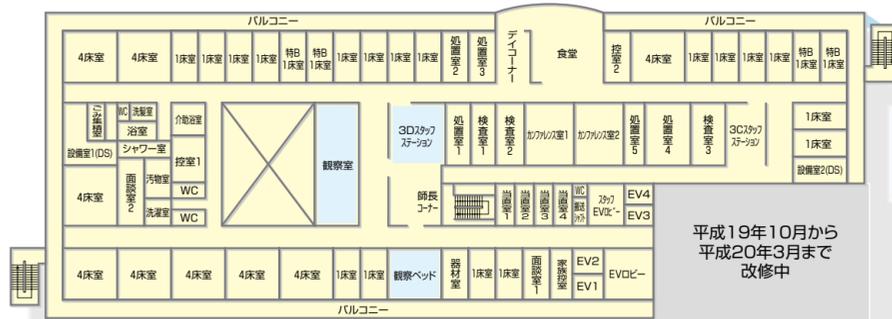
また、卒後臨床研修や地域の医療人を対象とする生涯教育、学生や実習生などの教育研修のために利用する臨床技能室(スキルラボ)や、カンファレンス室を整備し、確かな医療技術を習得する場を充実させ、地域の優秀な医療人を育成する環境を整備します。

3 医療安全推進病院

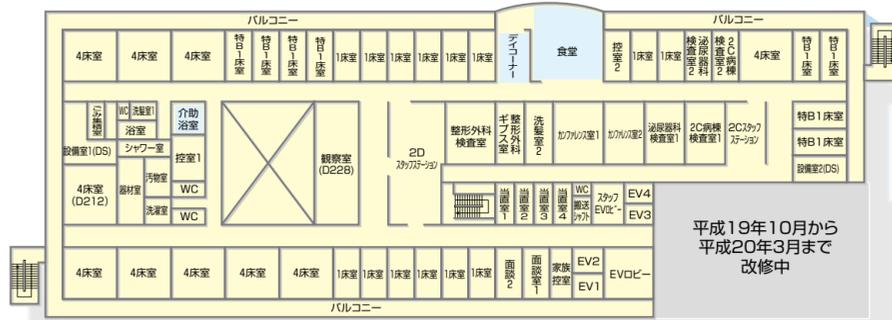
安全対策を基礎とした病院設計を行います。また、病院全体の安全管理体制、医療安全管理・感染管理体制及び危機管理体制の整備に万全を期し、医療安全推進病院の構築をめざします。



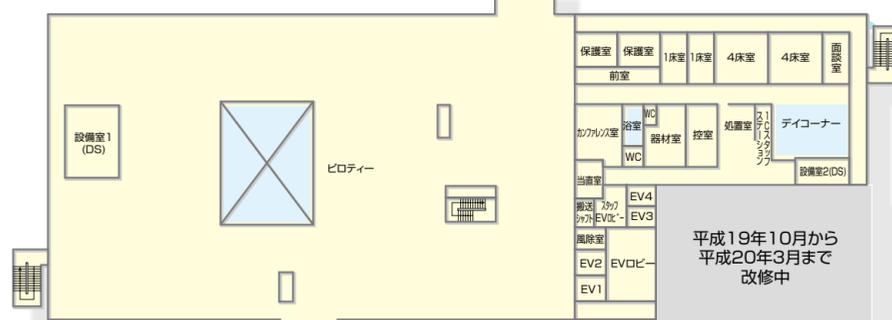
3階



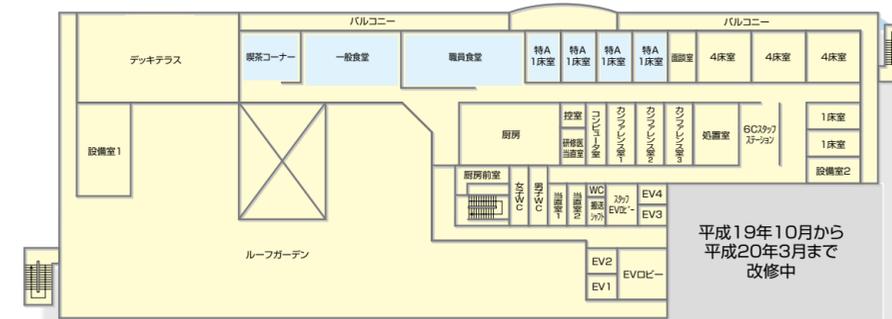
2階



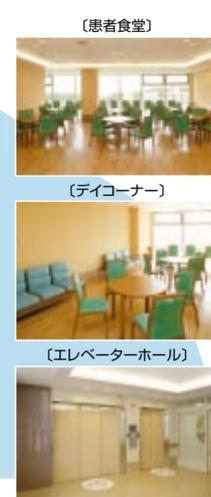
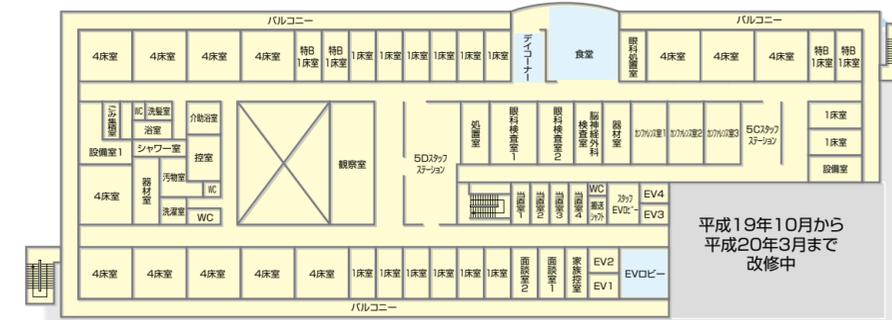
1階



6階



5階



4階

